

5 旭丘授業デザイン

時間	学習活動・教師の手立て		めざす児童の姿
5分	課題を持つ	・体験、興味・関心をもとにした課題設定 ・必要感、学びごたえのある課題設定 ・教科の見方・考え方を踏まえた共通の軸 ・教材の視覚化、既習、学習計画の見える化 ・課題解決の見通しを持たせるための工夫	「なんでだろう？」 「…を使えば、できるかな。」 「□□がわかれば、きっと○ ○になると思う」 「やってみたい！」 
5分	自分の考えを持つ	・既習の活用 ・教材文、資料、図等、根拠をもとに考えさせる ・不十分な考えの見取り、肯定→活用 ・自己存在感の感受につながる働きかけ	「Aだと思う。なぜなら…」 「～まではわかった。」 「文に…と書いてあるから、～だと思うな。」 ※書き残す
25分	伝え合う・深める	・話し合いたいと思えるようなしかけ ・タイミング、グループ構成のコーディネート ・思考を可視化するためのツールの活用 ・目的や視点を明確にした話し合いの場の設定 ・ねらいに迫るための思考を深める発問、問いかけ、問い返し ・個に応じた支援 ・自己存在感の感受につながる働きかけ	「～のところから…と考えたよ。」 「どうしてそう思ったの？」 「だって、○○だから▲▲ってことが言えると思うよ。」 「～のところもっと詳しく教えて。」 「なるほど！」 「そういう方法もあるね。」 「…さんの考えを聞いたら、私も考えが変わった。」
キーワードの位置付け（教科の見方・考え方、教科の用語等） 国語…教材文の叙述 算数…既習事項、図・表・式、規則性 社会…写真やグラフ等の資料 理科…既習事項、実験や観察の結果、生活経験			
10分	適用問題・まとめる・振り返る	・キーワードを使ってまとめさせる ・ねらいや子供の実態に合わせた適用問題 ・わかったことのアウットプット ・学びを自覚できるようなふり返りの観点 	「今日のキーワードは□□」 「授業の大事なところは…のところだったね。」 「○○さんの説明を聞いたら自分でもできたよ。」 「次は…なことを調べてみたい。」